

**みえ森と緑の県民税
市町交付金を活用した
事業成果について**

～平成26年度事業概要～

鳥羽市農水商工課

中村 将

市内の森林状況

- 森林面積は市域面積の約70%
- 所有者の高齢化や生活スタイルの変化により管理放棄地の拡大
- 水源涵養機能や土砂流出防止機能など
公益的機能の低下
- イノシシやニホンザルなどの野生鳥獣
による農作物への被害拡大

みえ森と緑の県民税の活用方法の検討

- 野生獣被害の軽減
年間被害金額 14,460千円(平成24年度)
農林業(第1次産業)生産向上
- 木の魅力づくり推進
公共施設等への木材利用の推進
- 木材をエネルギーとして活用
薪ストーブや薪ボイラーなどの木質エネルギーの推進

森林整備を通じて海況環境の改善を目的とした「森と海・きずな事業」と相乗効果を図っています。

暮らしに身近な森林整備事業 (基本配分枠事業)

市内農地は・・・

- 山間部を中心とした水稲栽培
- 自家消費を目的とした
季節野菜の栽培

野生獣被害軽減対策が急務



野生獣被害に有効とされている
緩衝帯の整備



緩衝帯整備を行った森林①



緩衝帯整備を行った森林②

暮らしに身近な森林整備事業 (基本配分枠事業)

緩衝帯整備を行うことで・・・

緩衝帯整備面積：4.33ha

- 野生鳥獣の農地周辺への
出沒軽減
- 農作物被害金額の軽減
10,600千円(平成26年度)
- 農林業の生産向上



緩衝帯整備を行った森林③

木の薫る空間づくり事業 (特別配分枠事業)

木の魅力づくり推進

- 平成26年10月に
鳥羽マルシェがオープン
- 三重県産材檜を使用した
木製テーブル 10基
木製ベンチ 30基
を整備
- 木の優しさと檜の薫る空間
を演出



木製テーブル等設置状況

木の薫る空間づくり事業 (特別配分枠事業)

木材をエネルギーとして利用

- 鳥羽マルシェ内に
薪ストーブを設置
- 薪ストーブの魅力と木材利用を
促すための薪ストーブ点火式
の実施
- 主燃料となる薪は
市内の森林整備による
間伐材等を利用



薪ストーブ点火式の様子



薪ストーブ設置状況

みえ森と緑の県民税を活用して

- 森林整備（緩衝帯整備）を通して
野生獣被害の軽減、農林業の生産や
生活環境の保全や維持向上
- 公共施設に県産材を活用した
木製テーブル等を設置し木材利用の推進
- 市内で搬出された、間伐材を使用した
木質エネルギーの地産地消